

CO2 削減量をクレジット化したい！

テーマ名 バイオ炭の農地施用によるCO2削減量のクレジット化

希望する提案のイメージ バイオ炭の農地施用による CO2 削減量の算定とJクレジット登録に必要なスキームづくりの提案

提案者側のメリット

- ・スキームが完成し、国のJクレジット制度登録に至った場合、市プレスリリースをはじめ広報媒体をとおして周知し、提案者の企業価値向上や CSR 活動に貢献。
- ・全国初の取り組みとなるため、他の果樹産地への展開が見込め、完成したスキームの紹介(或いは売買)をとおして、自治体等との業務取引増が期待できる。

概要 バイオ炭の農地施用による CO2 削減量を算定し、国のJクレジット制度への登録(Jクレジットの売却)をとおして、果樹生産者の収入増につなげる。

市の現状・課題

【 現状 】

本市の果樹生産者が冬期間に排出する剪定枝の量は、年間 800 トン以上と推計。その一部は焼却処分されており、温室効果ガスの発生や煙による周辺環境への悪影響が問題となっている。このため、本市では、煙が生じにくい炭化器を使用して果樹剪定枝を炭(バイオ炭)に変え、土壌改良資材として農地に施用する取り組みを推進しており、取り組みをとおしてバイオ炭に固定した CO2 を土壌に貯留し、CO2の削減につなげている。

【 課題 】

この取り組みを一層推進するためには、バイオ炭の農地施用が、①周辺環境への悪影響防止、②土壌改良資材として活用可能、③CO2 削減につながることに加え、④貴重な収入源となり得ることを示し、一石四鳥の取り組みとして PR する必要があり、Jクレジット制度への登録が課題である。

留意点・制約等

- ・果樹生産者が、簡易な方法で CO2 削減量を算定できること。
- ・現時点で予算はないが、提案内容に応じて予算化の可否を検討する。

募集期間 随時

担当部署
(問い合わせ先)

所属名:農政部農業振興課 生産振興係
電話:024-525-7720
mail:noushin@mail.city.fukushima.fukushima.jp